



RI テーマ **Rotary Serving Humanity**
人類に奉仕するロータリー
 クラブテーマ 『多様性そして和』

2016-2017

会 報 No. 994 豊橋東ロータリークラブ

第 42 回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520
 会長：松下泰三 副会長：及部多高 幹事：平野正博 会報・雑誌委員長：鎌田哲也

平成 29 年 5 月 24 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：クラブ奉仕

ロータリーソング「それでこそロータリー」/「四つのテスト」 唱和：角谷 歩 さん

ゲスト なし

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	5月10日修正出席率	ビジター
	43名	42名	2名	16名	61.90%	85.71%	0名

会長挨拶

松下 泰三会長

法科大学院（ロースクール）は、授業料が年間100~300万円程度かかり、親に資力が無いと借金（学生ローン）することになります。司法試験に合格しても、1年間の司法修習中は無給、必要な場合は国から修習資金の貸与を受けます。弁護士として社会に出るとき、多額の借金を抱えて人生をスタートさせる人がたくさんいます。

米国はもっと深刻です。学生ローンが発達しており、ロースクールの多くの学生はローンを組んで入学します。米国のロースクールは毎年5万人程度が卒業し弁護士になります。当然就職率は低く、ローンを払えない新人が続出します。しかも米の法律では、破産しても学生ローンは免責されません。つまり一旦つまずくと、一生涯ローンの重荷から免れることが出来ないのです。未来を背負って立つ若者が、ローンの負担を背負いながら社会に旅立つのも酷な話です。

本日のプログラム

「地震と防災について」

及部 多高 副会長／クラブ奉仕委員長

日本は地震大国で、直接の地震以外にもその関連死などの被害も多くあります。熊本地震では1回目より、2回目の震度7の方が大きかったと言われていますが、現在の基準では震度7以上はありません。この地域では東海地震が心配されていますが、これは大陸プレート型の地震と考えられています。これ以外に熊本地震のような内陸活



断層の地震も見逃せません。東海、東南海、南海の地震は100年から150年周期で発生しています。1707年の宝永地震、1854年安政地震さらに90年後の1944年、1946年の南海地震、東南海地震、1945年の形原地震は断層型の地震です。30年以内の東海、東南海地震の発生確率は60%~70%と言われてはいますが、全壊10万棟、火災4万9千棟、人的被害6万8千人、1週間後の避難者数950万人で、東日本大震災以上の被害が出ると予測されています。

阪神淡路大震災以降、建物の耐震化が叫ばれてはいますが、昭和56年以前の建物は非常に危険性が高いということになっています。新耐震基準では震度7以上の地震が起きた時、1回は大丈夫だけど、2回目以降は関知できないというものです。

防災という意味では、地震が起きた地域の会社や役所は動けないことが多いので、むしろ地震が起きていないところから支援が受けられる体制を取っておくことが重要だと考えています。

もう一つの問題は液状化です。今は建築確認の申請時に液状化の調査をする事になっていますが、液状化に対する確立した技術が未だないため、どのように対策しなさいという事は決まっていません。名古屋、岐阜、三重は昔東海湖と言われた地域なので液状化の可能性は高いという事です。自分の土地の地盤についてはアプリでデータを調べる事ができます。

この地域に住む以上地震に関心を持っていないわけにはいかないと思います。

写真・原稿：中嶋 秀樹 さん